

令和元年度

国内外からさらに誘客を図るため、電子雑誌『旅色』でモデルの内田理央さんを起用しました。

『旅色』は電子雑誌のほかフリーペーパーを作成し、福島空港と台湾桃園国際空港を結ぶ定期チャーター便で台湾から訪れる観光客に対して地域の魅力を最大限に発信しました。

また、翌年の東京オリンピックに向けて台湾からの誘客を目指し、台湾の旅行代理店を訪問しました。



旅色はホームページで
ご覧いただけます！



▲ゴルフ場も紹介



▲南湖公園内のカフェで撮影

しらかわ台湾 交流物語

台湾 DATA



台湾（人口 約2,300万人）
東京から約2,200km南西に位置
台南市（人口 約189万人）
台湾の南西部にあり、37の行政区
区から成り立つ。オランダ・日本
統治時代の古い建物も多く「台湾
の京都」と呼ばれている
白河区（人口 約3万人）
レンコンと加工品が特産品。蓮公
園や泥温泉が有名。「白河」の台湾
での読み方は「ベエホー」

本市は、これまで台湾とさまざまな交流を行ってきました。コロナウイルスの影響でインバウンド事業は中断していますが、今後もインバウンドに加えアウトバンドにも取り組みながら、台南市・白河区を中心に地域間交流を積極的に推進していきます。

今月号では、交流の経過や台南市・白河区を紹介します。

📍本庁舎観光課 内2243

台南市って？



台南市は台湾南西部にあって、四季を通じて暖かく、台湾でもっとも早期に開発された第4の都市です。人々はいまなお純朴かつ親切で、細やかな人情が地域に根付いています。街のあちこちに、長い歴史を今日に伝える数々の史跡や文化財が見られる古都です。白河区は台南市の北東端に位置します。

令和3年度

《台湾駐日代表が来白》

平成29年度に台南市白河区を訪問以降、観光や教育などで交流を重ねてきたことから、コロナ禍でインバウンドが落ち込む中、台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表が本市を訪れました。小田川小での「バナナ贈呈式」やイオン白河西郷店での「台湾フェア」などが開催され、アフターコロナを見据えた誘客に向けて交流を図りました。



▲台湾バナナをPRする謝代表と市長

《台南市和風文化祭2021》

台南市では、台湾の方に日本の伝統工芸に対する意識を深めてもらうため、和風文化祭を開催しました。本市からは、白河だるまなどを展示しました。

福島県は東日本大震災から10年という節目の年でもあり、復興の道のりや被災地域の「今」の正確な情報を伝えるため、復興状況など震災関連の展示も行いました。



▲白河だるまなどの伝統工芸を展示

《市内モニターツアー》

コロナウイルスの収束を見据え、国内在住の台湾の方を対象としたモニターツアーを実施しました。

外国人目線で旅行行程のブラッシュアップを行い、地域の観光資源を結んだ着地型旅行商品の造成や、外国人観光客の誘客を目指します。

◆市内在住台湾の方から

白河に来て32年になります。白河の自然環境がとても好きです。また温泉や交通の便の良さが魅力だと思います。美しい自然の風景の中に住んでいることが、白河では普通の日常生活ですが、台湾だとこのような環境に住める場所はないように思います。

今後は、白河の人にも台湾の人にもお互いの良さを知ってほしいと思います。今では白河が第2の故郷です。※田中恵如さん（最前列中央） 米山越在住



▲市内モニターツアー参加者

平成28年度

日本各地で訪日外国人観光客獲得に取り組む中、親日国である台湾を市長が訪れ、トップセールスを実施しました。市長は台北から高雄に移動中、台南市白河区の存在を知りました。



▲台南市台日友好交流協会理事長 郭貞慧氏と市長

平成30年度

台湾のメディア・旅行会社の関係者60人を対象に、ゴルフを核として「白河提灯まつり」や国指定史跡小峰城、南湖公園、白河だるま絵付け体験など、多様な観光資源を組み合わせたモニターツアーを実施しました。

また、福島空港発着の台湾やベトナムへの国際チャーター便が増加され、本県へのインバウンドの可能性が高まるため、両国へのトップセールスを実施しました。

平成29年度

台湾から旅行代理店やゴルフ雑誌の代表者を招き、本市の観光資源のひとつであるゴルフを軸としたモニターツアーを実施したところ、大変好評でした。

また、市内にある多彩なゴルフ場をいかしたインバウンドの取り組みを進めるため、前年に引き続き、旅行代理店などへのトップセールスを行うとともに、台南市政府を訪問しました。

翌年3月には、市内の中学生を台南市に派遣し、現地の中学生と交流しました。



▲本市ゴルフ場でモニターツアーを実施



▲台南市の中学校で全校生徒による歓迎会